

## 結核（BCG）

**BCGワクチン** ☆生ワクチンです。

**対象年齢** 1歳の誕生日の前日まで（標準として生後5か月～8か月の前日）

**接種回数** 1回

**効果** BCG接種により結核の発病を約4分の1に減らすことができ、その効果は10～15年持続されます。  
特に乳幼児における結核性髄膜炎や粟粒結核などの重篤な結核の発病予防には高い効果があります。

### 結核とは？

結核菌の感染で起こります。我が国の結核患者はかなり減少しましたが、まだ2万人を超える患者が毎年発生しているため、大人から子どもへ感染することも少なくありません。また、結核に対する抵抗力（免疫）は、お母さんからもらうことができないので、生まれたばかりの赤ちゃんもかかる心配があります。乳幼児は結核に対する抵抗力（免疫）が弱いので、全身性の結核症にかかったり、結核性髄膜炎になることもあり、重い後遺症を残す可能性があります。

### 副反応

接種後1か月前後から接種した側のわきの下のリンパ節がまれにはれることがあります。通常、放置して様子をみてかまいませんが、ときにただれたり、大きくはれたり、まれに化膿して自然にやぶれてうみが出ることがあります。このようなときは接種医にご相談ください。

### 接種後の針痕部位の変化

接種後10日頃に接種部位に赤いポツポツができ、一部にうみができることがあります。このような変化は接種後1か月頃が最も強くなりますがその後、かさぶたができて、接種後3か月頃までには治り、小さな傷跡を残すだけとなります。このような反応はBCG接種後には一般的にみられます。

### コッホ現象とは？

結核に既に感染したお子さんにBCGを接種すると、接種後10日以内に接種部位に発赤・はれや化膿等が起こり、通常2週間～1か月以内に治癒します。これをコッホ現象といいます。

この“コッホ現象”が見られた時は、周囲に結核患者が存在している可能性があります。このような症状が疑われる場合、本人や家族の検査（ツベルクリン反応）が必要な場合がありますので、早急に接種医にご相談ください。